

松梅校道徳通信

令和8年7月22日
文責：野田

7月は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」について考えました

今年度3回目の研究授業が7月15日（水）に行われました。今回のテーマは「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」です。小学4年生、中学1年生、3年生が、それぞれの学年に応じた教材で取り組みました。ぜひご家庭でもお子さんと「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」について話し合ってみてください。

小学4年生「ふろしき」



「ふろしき」について実演を見たり、詳しい話を聞いたりして、「わたし」は、伝わるもののよさを感じます。なぜ、今も残っているのか、児童に身近な物を見せながら古くからあるもののよさについて考えました。

児童の意見

- ・(今でも残っているのは)伝統をつないでいる。
- ・折り紙などは、文化的なものをつくっている。
- ・昔遊びから昔のことを学んでいる。
- ・行事には、子どもに笑って楽しんでほしいという思いがある。

保護者の方の感想

- ・風呂敷の由来を初めて知り、とても便利だと思った。
- ・日本には、昔から物を大切にする文化や知恵があると感じた。
- ・一枚の布を繰り返し使う知恵は、今の生活にも通じる大切な考え方だと思う。

中学1年生

「島人ぬ宝～自分の地域の宝って？」



生徒一人ひとりが撮影してくれた「松梅の好きな風景の写真」を鑑賞し、BEGINの「島人ぬ宝」を視聴することで、松梅の大切な自然や風景への愛着を深め、未来につなげていこうとする意識を自覚することができました。

生徒の意見

- ・誰かが守ってきた自然を私たちが守っていくようにいろいろなことをしていこうと思いました。
- ・松梅はいなかだけでなく、いなかから見られる景色もあって、自然っていいなと思いました。

保護者の方の感想

- ・松梅で生まれ育ち、この自然があることが当たり前のように過ごしていると思う。改めてこの自然を守ることや自分たちにできることを考えられたのではないかと思います。
- ・松梅がいつまでも続くように、できることを少しずつやっていこうと思いました。

中学3年生

「地域を愛するプロサッカーリーグ」

地域を愛するために自分にできること



Ｊリーグの「ホームタウン活動」について知り、活動する選手たちと地域の人たちの思いについて考え、自らの地域への貢献のあり方について振り返り、地域の一員として郷土の発展のためにできることを話合いました。

生徒の意見

- ・私は去年、地域イベントの運営に参加させていただき、準備にかかる手間や費用、やりがいを知りました。今回の授業で、これからも私はこの積極性を生かして地域おこしに取り組み、できる限りの貢献をしていきたい。

保護者の方の感想

- ・地域に愛着をもってもらうには、まずは地域の大人の子どもへのまなざしが重要だと考える。自分が大切にされ、意見を聴かれたり、尊重されたりすることが、子どもが大きくなったときに地域を誇らしく感じてくれるのだと思う。